

第103回 病態生化学セミナー

日時：平成28年10月20日（木曜日）午後6時00分～

場所：医学部講義棟1階 国際交流ラウンジ

演題：転写装置を介したクロマチン構造制御

Transcription machinery controls chromatin structure.

演者：村上 洋太 先生

北海道大学 大学院理学院 教授

クロマチン構造制御は遺伝情報のエピジェネティックな転写制御の根幹をなすメカニズムである。一方で、最近の研究から転写装置が直接的、間接的にクロマチン構造を制御することがわかってきた。我々はクロマチン制御の良いモデル生物である分裂酵母を用いて、この転写装置によるクロマチン構造制御機構について解析を行ってきた。本セミナーではその最新の成果について議論したい。

【村上 洋太】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp

博士課程選択必修科目：基礎医科学(D3)、

博士課程選択科目：細胞生物学I(D6)、老化II(D20)、発生生物学I(D15)、発癌I(D22)、腫瘍生物学I(D24)、II(D25)、III(D26)、臨床腫瘍学I(D28)、II(D29)、III(D30)、IV(D31)、V(D32)、VI(D33)、地域がん治療学(D37-1)、口腔腫瘍学(D37-2)、薬物動態学I(D70)、腫瘍免疫学I(D79)、理工医学のための生物材料学(D103)

医科学専攻(修士課程)選択科目：

腫瘍の発生・増殖とその制御(M23)、理工医学のための生物材料学の基礎(M34)を履修している学生は、できる限りこのセミナーに出席してください。